

技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

事業実施報告書【インドネシア】

担当講師	西谷 賢二氏 (パナソニックホールディングス株式会社)
実施期間	2025 年 1 月 20 日 (月) ~ 1 月 24 日 (金)
実施場所	インドネシア共和国 東ジャカルタ市 松下グローバル財団・ハイテク金型センター
研修	技能評価者講習 (SAT)、技能評価トライアル (SET)
実施職種	機械製図 (CAD 作業) 2 級

2025 年 2 月

結果概要

1. 対象者数 SAT 受講者数 4 名 / 修了者数 4 名
 SET 評価者数 4 名 / 受検者数 8 名 / 合格者数 4 名

2. 日程

日時	指導内容
1 月 20 日 (月) 8 : 00 ~ 16:00	【技能評価者講習 (SAT)】 ・ 評価者の役割と責務 ・ 実技試験問題、必要な機材等について ・ 必要な備品について ・ 実技試験実施方法及び運営上の留意点について ・ 役割演習 (評価者と受検者に別れて) Auto CAD による作図と実技試験の運営方法を演習
1 月 21 日 (火) 8 : 00 ~ 16:00	【技能評価者講習 (SAT)】 ・ 採点・評価実習 (採点項目と採点方法について) 採点項目は以下の通り ① 図形の作成及び表示、②寸法等の記入、③表題欄、④図面のみばえ、 ⑤作業態度採点、⑥特別採点
1 月 22 日 (水) 8 : 00 ~ 16:00	【技能評価者講習 (SAT)】 ・ 採点・評価実習 (続き) ・ 評価チームの編成と役割分担 ・ 試験用機材のチェック (USB、A2 用紙がプリントアウトできるプリンター等を含む) ・ 試験会場設営・機材の配列 コンピュータをスタート時の状態に設定
1 月 23 日 (木) 8 : 00 ~ 16:00	【技能評価トライアル (SET)】 8:00~8:15 受付、開講式 8:20~12:40 実技試験 (受検者: 最大 8 人) 12:50~13:00 受検者が保存した作図データの確認 (受検者が USB に保存したもの) ・ USB のデータを A2 用紙にプリントアウト ・ 採点会場の設営及び採点準備 ・ 採点作業
1 月 24 日 (金) 8 : 00 ~ 16:00	【技能評価トライアル (SET)】 ・ 採点作業 ① 図形の作成及び表示、②寸法等の記入、③表題欄、④図面のみばえ、 ⑤作業態度採点、⑥特別採点 ・ 試験結果表の作成 ・ 総括

3. 講評 (西谷講師)

2019 年より始まった、インドネシアにおける CAD 機械製図 2 級の SAT/SET を、今年も無事終える

ことができました。2023 年は残念ながら、SET 受検者がいなかったため 2 年振りの開催となりましたが、今年には過去最高の 8 名が受検いただきました。SAT につきましては、今回 4 名の方が受講いただきました。SET 合格率を上げるべく、事前練習を 3 回実施した結果、何とか合格者は 4 名に達しました。毎回合格者はかなり少ないのですが、事前練習した後のフィードバックが十分でないため、弱点が克服されないことが要因かと思えます。SET 対象者を事前指導する講習会の開催をご検討いただきたいと思います。

4. アンケート結果

SAT【技能評価者講習】

◆受講者 4 名（回答者 4 名）（※5 段階評価）

満足度：	5：大変満足＝3 人	4：満足＝1 人
役立ち度：	5：大変役立つ＝3 人	4：役立つ＝1 人
継続性：	5：是非継続すべき＝1 人	4：継続すべき＝3 人

【改善点・提案】

- ・参加者のためにもっと様々な図面を用意すべきである。
- ・JIS の詳細と部品寸法の記入方法。

【意見・感想・実施希望】

- ・金型 CAD
- ・3D トレーニングは非常に有用であり、現場の仕事の環境に関連しているため、将来行うべきだと思う。
- ・実技試験問題の作り方。
- ・事前トレーニングをしてほしい。

◆現地責任者 1 名（回答者 1 名）

継続性： 5：是非継続すべき＝1 人

【改善点・提案】

- ・西谷講師は、SAT に関する説明をできるだけ行い、参加者が実技試験の評価方法を理解できるように努めた。
- ・IMDIA は、今年の SAT 参加者のうち 1 名が、仕事が忙しく上司の許可を得られなかったという理由でキャンセルとなったため、4 名のみとなったことをお詫びする。

【意見・感想・実施希望】

- ・現在の研削盤技能認定試験は、IMDIA 委員会に 2 級の評価者がおらず 3 級で止まっているため、SESPP に研削盤 2 級の分野で SAT/SET を実施していただくことを希望する。

SET【技能評価トライアル】

◆評価者 4 名（回答者 4 人）（※5 段階評価）

満足度：	5：大変満足＝3 人	4：満足＝1 人
役立ち度：	5：大変役立つ＝3 人	4：役立つ＝1 人
能力向上度：	5：大変向上した＝3 人	4：向上した＝1 人
継続性：	5：是非継続すべき＝2 人	4：継続すべき＝2 人

【改善点・提案】

- ・ 評価者の知識と技術をより完璧なものにするためには、もっと練習が必要だと思う。
- ・ 金型に関する問題を作ってほしい。
- ・ 演習のためのサンプルを増やしてほしい。

【意見・感想・実施希望】

- ・ 金型図面
- ・ CMM 機械検査
- ・ 3D 製図の評価法訓練
- ・ 将来的には 3D ドローイング&デザインの資格取得が必要。

◆受検者 8 名（回答者 8 人）（※5 段階評価）

満足度： 5：大変満足＝5 人 4：満足＝1 人 3：どちらともいえない＝2 人
役立ち度： 5：大変役立つ＝4 人 4：役立つ＝2 人 3：どちらともいえない＝1 人
2：役に立たない＝1 人
継続性： 5：是非継続すべき＝2 人 4：継続すべき＝5 人
3：どちらともいえない＝1 人

【改善点・提案】

- ・ 人工知能。
- ・ 翻訳問題文を改善すべきである。翻訳機能を使うだけでなく、インドネシア語の意味を踏まえて訳す方が良い。
- ・ 将来的には、作成中の図面に関する機能やマシンの名前を説明できるようになり、よりスムーズに作業を行うことができることを目指す。
- ・ 資格取得前の準備として、機械製図(CAD 作業)に関する研修が増えた。(機械製図(CAD 作業)の JIS 規格に関する説明)
- ・ 2 級のトレーニング資料に対する要望がさらに深化され、明確化された。
- ・ 西谷講師による 1 日指導。
- ・ 実践的な練習では、指示に対する修正や回答がより迅速に行われることが望まれる。

【意見・感想・実施希望】

- ・ 金型設計および製造。
- ・ 西谷講師による 1 日指導。

◆現地責任者 1 名（回答者 1 人）（※5 段階評価）

継続性： 5：是非継続すべき＝1 人

【改善点・提案】

- ・ 機械製図(CAD 作業)2 級の認定試験参加者 8 名の評価結果は芳しくなかった。IMDIA による現地講師を交えたトレーニングや模擬試験の準備では、参加者の技術レベル向上には不十分であった。今後の SAT の実施において、日本の講師から 1 日程度、認定試験参加者に実践的な試験のコツを教授いただく時間を設けることを期待したい。

【意見・感想・実施希望】

- ・ IMDIA は、SET 研削盤 2 級導入のための支援を希望する。